

公明こうち

市議会ニュース

発行所／高知市議会公明党
住 所／〒780-0870
高知市本町5丁目1番45号
TEL:088-823-9403
FAX:088-871-2485

2021年(令和3年)2月1日 第50号

高知市議会 KOMEITO 公明党

第481回

高知市
議会
定例会

「小さな声を、聴く力」を發揮!!

寺内憲資議員は一問一答方式により、次のとおり個人質問を行いました。

◆就学援助制度について

公明党は国會議員と地方議員が連携し、これまで小中学校入学前支給の障害となっていた国の補助金制度の改正を行うことができたことから、高知市においても早急に入学前支給を実施すべきであると、市長・教育長に要求してしました。結果、中学校入学前支給は、平成30年度から支給開始となつたものの、新小学1年生に対する入学前支給は、システム改修を理由に未実施のままとなつていていたことから、本議会において教育長に実施を迫り、令和3年3月から開始することが決定しました。(支給額は、新入学準備費48790円です。)

◆総合防災システム整備について

台風等による風水害の災害が多い高知市は、これまで高知市独自の民間業者による防災システムを整備してきました。

ところが、阪神・淡路大震災以降は、日本各地で大災害が発生していることから、国では総務省推奨の全国共通版の防災システムを開発し、全国自治体に無償で配布されており、高知市にも配布させていているにも関わらず、実践活用できる整備が全くできていませんでした。

そこで市長に対し、南海トラフ巨大地震に備え、防災システムを現状のまま業者丸投げの高知市版で構築するのか、全国共通の全国版の防災システムで構築するのか、大きな分岐点にあり、このまま業者丸投げの体質を続ける限り、無駄な費用になると、防災システム整備の見直しを迫りました。(詳細 寺内のりよしHP参照)



寺内 憲資 議員

大久保尊司議員は、総括方式で次の質問を行いました。

◆コロナ禍における生活困窮者支援について

公明党はこのコロナ禍による影響で、収入の減少や解雇、雇い止めが増えている現状を踏まえ、生活困窮者への支援策強化を繰り返し求めまいりました。その結果、政府は、緊急小口資金の特例貸付の申請受付期限を令和2年12月末から令和3年3月末まで延長をすることと、住居確保給付金の受給期間を最大9ヶ月から12ヶ月に延長することを発表しました。

これを受け、高知市においても、コロナ過の影響により生活が困窮してしまい、今後の生活への不安を抱えて、生活が立ち行かない市民が出ないように、生活保護や就労支援など、個々の状況に応じて、支援につないでいるようになっているのかどうか、市長に質問をしました。

岡崎市長からは、「高知市社会福祉協議会が設置する生活支援相談センターでの、自立相談、支援事業を基軸とし、ハローワークとの連携で、安定的な就労を支援しているほか、対象者の課題に応じて、様々な専門機関と連携しながら課題解決に取り組んでいる。また、困りごとの内容を個別に伺いながら、必要に応じて、介護や子育てなどの各種制度へ的確につないでいくとともに、生活保護の利用が必要と判断されば、担当の支援員が福祉事務所まで同行するなど、これまでに構築してきた関係機関とのネットワークを重層的な相談支援体制として、さらにつとめに洗練・強化しながら、市民の皆様の生活安定に向け、着実に取り組んでいく」との答弁を得ました。



大久保尊司 議員

◆江ノ口川の浸水対策

旭地区を流れる江ノ口川は周辺で何度も浸水被害が発生しているため、公明党では県市一体で取り組んで参りました。今回の質問では、旭小学校の周辺の対策について取り上げました。

学校の木でありながらブロック塀でグラウンドから切り離された状態で側溝脇に植えられている樹木が、近隣の浸水を誘発する一因であることから、この地域では管理者である教育委員会に対策を求めてきました。その結果、令和2年度のブロック塀の撤去と同時に伐採するとの合意が交わされました。

ところが一転、合意が破棄され地域を分断する問題に発展したことから地元の大久保たかし市議が取り組んできた経過を踏まえ、住民組織と高知市における意思決定のあり方について、教育長と市長の考えをただしました。さらに樹木を移植するには困難なことから、旭町内会連合会会長の「創立百五十周年を記念して、児童や保護者・住民の思い出に残る木・愛される木を植樹することが最も良いのではないか」との提案をそえて再度協議するよう求めました。

議会質問の後、地域の代表者との話し合いにより、当初の合意に基づいて危険なブロック塀の撤去とともに浸水対策が進むことになりました。

次的重要課題は、江ノ口川一帯の流域治水です。「地域の課題を住民の皆様とともに解決する」私達公明党は住民自治を力強く下支えしていくことが、地域共生社会の第一歩であると考えています。県とも連携し、取り組んで参ります。

※「高知市議会・議会中継」より、録画配信中



西森 美和 議員

西森美和議員の質問は以下の通りです。

こととも未だ部長は「ご指摘いたいたいたとおり、保育園での視力検査を実施することとし、実施方法などについて医師会等に相談のうえ、準備を進めてまいります」と答弁されました。今後は、保育園等でも視力検査が実施されることになります。

◆幼児期の視力検査と3歳児健診
人の視力は視機能が発達する時期に視覚感覚を育てる必要があり、高知市では3歳児健診で「弱視」のスクリーニングを強化し、早期発見に努めています。
しかしながら3歳児健診で弱視を発見できない場合は、治療が遅れ視力を育てることができることもあるため、条例に定められているとおり、保育所等での視力検査の実施を求めました。

◆「暗所視支援眼鏡」を日常生活用具に
網膜色素変性症による、夜盲や視野狭窄の支援のために開発された「暗所視支援眼鏡」を高知市日常生活用具給付事業に加えることを求めました。

岡崎市長は「身体障害者の自立と社会経済活動への参加を促進するに相応しい用具であると考える（略）3月補正での対応も視野に入れながら検討していく」と、答弁されました。

◆理美容業界への支援について
コロナ感染が懸念される中でも、顧客との至近距離での接触を避けることができない理美容業界に対する支援策を求め、岡崎市長からは「具体的に検討する」との回答を得ました。



たかぎ たえ 高木 妙議員

『令和3年度：予算要望書』を岡崎市長に提出

11月26日(木)高知市議会公明党は、160項目からなる『令和3年度予算要望書』を岡崎誠也高知市長に提出しました。

令和3年度の予算は、コロナ渦中での社会情勢の変化による税収減が見込まれる一方で、これまでの事業に加えてコロナ対策支援強化のための財源確保など厳しい状況の中、時代に即応した機構と特色ある政策展開が求められることを強調しました。

さらに、岡崎市長がすすめる『連携と絆で次代につなぐ「高知市型共生社会」を目指して』をテーマとして、住民一人ひとりが共に支えあいながら地域の中で、持続可能な開発目標(SDGs)の考え方を踏まえ、誰一人取り残さない「高知市型共生社会の実現」に向けて、幅広い市民ニーズに照らした合意形成型の市政運営となることを求めました。



新感覚の「アートアクアリウム展 ~高知・金魚の海~」開催中

アートアクアリウム展は、60種1万匹の金魚が水槽で泳ぐ姿等をプロジェクションマッピングで投影する水中アート展です。全国で開催され、累計の観覧者も1千万人を超える人気の展覧会で、今回の展示は四国初開催です。またアートアクアリウムのロゴとなっている金魚家紋は、高知県の特別天然記念物となっている土佐錦魚がモチーフとなっています。

その他、九谷焼の中を泳ぐ金魚や18連の屏風形の水槽である「大政奉還金魚大屏風」など注目される多くの作品があります。

新しい芸術感覚や表現手法をぜひ体感してください。

アートアクアリウム展～高知・金魚の海～
2020年12月19日（土）～2021年3月7日（日）
オーテビア西敷地（高知市追手筋）
平日 11:00～20:00（最終入場19:30）

土日祝 10:00~20:00(最終入場19:30)
[チケット情報]
新型コロナウイルス感染症対策のため、ご入場の日時を指定してご購入頂きます。

(各日1時間毎)

[入場料(税込)]
平日：一般1,100円 / 子供600円(小学生以下) / 3歳以下無料
土日祝：一般1,300円 / 子供700円(小学生以下) / 3歳以下無料
※小学生以下保護者同伴
※身体障害者手帳等をお持ちの方は、障害者割引があります。

【購入方法】

WEBチケット: アートアクアリウム公式サイト

コンビニチケット: ローソン・セブンイレブン・ファミリーマート

当日券：各日・時間帯の事前販売が予定枚数に達しない場合のみ、残りのチケットを会場の当日券販売所で販売します。（開場15分前～19:30）

お支払いは現金のみとなります。
【お問い合わせ】(公社)高知市観光協会 TEL 088-823-4016

【お問い合わせ】(公社)高知市観光協会 TEL 088 823 4010

太陽